

松竹大歌舞伎

令和六年度
(公社)全国公立文化施設協会 主催

製作
松竹



なかむらきんのすけ
中村錦之助



なかむらほやと
中村隼人



いちかわえみさぶろう
市川笑三郎



いちかわせいこ
市川青虎



かみむらきちや
上村吉弥

一、ご挨拶

中村隼人

中村隼人が素顔で登場し、ご来場いただいた皆様にお目見得のご挨拶を申し上げます。公演をより深くお楽しみいただけるよう、演目のみどころなども合わせてご紹介いたします。

二、双蝶々曲輪日記

引窓

幕

南与兵衛 後南方十次兵衛 女房 お早 平岡丹平 三原伝造 母 お幸 濡髪長五郎

中村隼人 市川笑三郎 中村蝶一郎 上村吉太郎 上村吉太郎 上村吉太郎 中村錦之助

石清水八幡宮にほど近い八幡の里にある南与兵衛の家。亡き父の後妻となった義母お幸と女房お早が放生会の準備をしているところへ、相撲取りの濡髪長五郎が人目を忍んで訪ねてきます。幼い頃に養子に出されたお幸の実子である長五郎は、主筋への義理で人を殺めてしまい、母に一目会おうとやってきたのです。そこへ代官に任命され、父の名である南方十次兵衛を名ることが許された与兵衛が帰ってきます。お幸とお早は与兵衛の出世を喜びますが、与兵衛に命じられた初仕事は人相書の男を捕縛することです。仲秋の名月を翌日に控えた京都を舞台に、互いを思いやる親子の苦悩と情愛が描き出される義太夫狂言の名作。明かり取りの天窓(引窓)を巧みに用いながら、美しい月明かりのもとで展開する心温まるひと幕を、ご堪能ください。

三、新古今劇身替座禅

常磐津連中
長唄囃子連中

山蔭右京 太郎冠者 侍女 千枝 同女 小枝 奥方玉の井

中村隼人 市川青虎 上村吉太郎 上村折乃助 中村錦之助

大名の山蔭右京は、大の恐妻家でありながら浮気性。愛人の花子が都へやって来たことを知り、なんとか会いたいと願いますが、奥方玉の井が外出を許しません。そこで右京は、邸内の持仏堂に一晚中籠って座禅をすると嘘をつき、家来の太郎冠者に座禅衾を被せて自身の身替りにし、花子のもとへ向かいます。しかし、このことが玉の井に知られ……。狂言の大曲「花子」をもとにした舞踊劇。花子と一夜の逢瀬を叶え、ほろ酔い加減で帰ってきた右京が、自身と花子を踊り分けながらその様子を物語る場面はみどころの一つです。怒りに打ち震える玉の井と、それに気づかず浮かれる右京の対比が面白く、現代にも通じる夫婦のやり取りがユーモアたっぷりに描かれます。松羽目物に相応しい格調と品格のなかに、可笑しみが溢れる舞台をお楽しみください。

◆公演日程

※公文協主催公演

※10/31 木	神奈川県藤沢市	藤沢市民会館
※11/1 金	埼玉県越谷市	サンシティ越谷市民ホール(大ホール)
※ 2 土	東京都立川市	たましんRISURUホール(立川市民会館)
※ 3 日	新潟県柏崎市	柏崎市文化会館アルフォーレ
※ 4 月	山形県山形市	山形市民会館
6 水	北海道札幌市	札幌市教育文化会館
※ 8 金	北海道釧路市	コーチャンフォー釧路文化ホール(釧路市民文化会館)

※ 10 日	宮城県仙台市	東京エレクトロンホール宮城
※ 11 月	秋田県秋田市	あきた芸術劇場ミルハス
13 水	神奈川県横浜市	桐蔭学園シンフォニーホール
※ 14 木	愛知県春日井市	春日井市民会館
※ 15 金	岐阜県岐阜市	岐阜市民会館
※ 16 土	愛知県豊橋市	穂の国とよはし芸術劇場PLAT主ホール
※ 17 日	大阪府堺市	フェニーチェ堺(堺市民芸術文化ホール)

※ 19 火	徳島県徳島市	あわぎんホール(徳島県郷土文化会館)
20 水	岡山県岡山市	岡山芸術創造劇場ハレノワ
※ 21 木	広島県東広島市	東広島芸術文化ホールくらら
※ 23 土	静岡県静岡市	静岡県清水文化会館マリナート
※ 24 日	東京都練馬区	練馬文化センター
※ 25 月	神奈川県綾瀬市	綾瀬市オーエンス文化会館